

せ ん ぼ 通信 No.106

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「はだかやま」

昔、大人の皆さんが、「はだかやま」と呼んでいた所は、「龍ヶ馬場」という地名なのですが、その地域は、私が子供のころから何度も土砂災害がありました。

皆さんが、「はだかやま」と呼んでいたのは、大昔から、山崩れが起きてたからかな…？と。

今、その地域で山砂採取がされています。49国道沿いなので目につきます。運転中なので…チラッ見なのですが、山の断面というか山の腹の中をみているよう…。

本当にきれいな砂山なので、表層の木が崩れたら土砂が流れ出す…のが、分かりやすいです。そして、豪雨で…元々の山そのものが崩れるのですから、産廃盛土が流れ出すのは当たり前前の事故ですね。 監督官庁の役所の皆さん…頑張ってくださいね。

地震の予知はむずかしいですが、梅雨前線や台風の予報は、テレビだけでなくスマホでも、リアルタイムで分かります。危険を感じたら、親さんから子供へ…子供から高齢の親さんへ…大切な人を守るために、早めに早めに…安全なルートへ誘導してください。

「また読んでみて…」と、Mさんが手書きの文章を。前は小説で、今度は、ウサギの恩返しのような大人の童話のようなお話。Mさんの大好きなスキー場…別荘、あこがれの女性(上品で都会的)が、夢の中にあるのですね。

大好きな芋焼酎を飲みながら、ステキな物語が、頭の中に浮かんでくるのでしょうか。

そして、すごいなあ…と思うのは、文章がきれいで…なめらかで…別荘での、「夢のような一夜」が、絵本のように目に浮かんだこと。

そうか…そうか…うふふ…八十路前でも…ロマンチストで、こんな物語を書けるのは、Mさんの大切な奥さまが、素晴らしいからですね。

夏の星君をさがして「マイウェイ」

縁あって…メスの子犬がわが家へ…

「保護犬でもいいからほしい…」と、昨年から孫が。「犬の子生まれたけど…」と、5月に幸ちゃんから。12歳の誕生日前の6月末に届けてもらったが、「逃げられたらこまるから」と、マイバックから頭出して。

あらら…ごめんね…ビックリだよ。名前は「マリー」に。「5番街のマリーか…」と夫。お客さまが、「カワイイ…名前は？」

5番街のマリーです。「え？そんな渋い名前を孫さんがつけたんですか？」いえいえ…「マリー」は孫がつけて、じいちゃんが「5番街」をくっつけて…スマホで高橋真梨子を聞きながら上機嫌です。(笑笑)

「さわってもいいですか？」と、お客さまや配送の人もとろけそうな笑顔です。



「うれしい」を聞けばうれしや梅雨の日も

〒963-1245 郡山市田村町柝山神字千穂128 TEL: 024-975-2415 FAX: 024-975-2466

2023・7

遠藤商店

編集: ミサ子 mail:kaikuu-0305@docomo.ne.jp